

## 歯科口腔外科後期臨床研修プログラム

### 1. はじめに

社団法人日本口腔外科学会は、2年以上の会員履歴と口腔外科研修・診療実績を学会認定専修医資格取得の基本要件としており、さらに専門医は、6年以上の口腔外科臨床経験と会員歴を基本要件としたうえで、筆記および面接試験を受けて認定される。後期臨床研修では1年間の初期臨床研修プログラムを終了した後、口腔外科専門医資格取得を目指す研修医を対象に個々の研修指導を行う。対象者は研修2年目以降であり、当直や学会参加を通してより専門性の高い知識と技量の習得を目標とする。

### 2. 教育目標と研修到達目標

#### (1) 教育目標

歯科医療人として望まれる社会的態度を身に付け、患者・家族との良い人間関係を確立できる歯科医師の育成

全人的な視点から得られた情報を理解し、それに基づいた総合的治療計画を立案し、自ら行った治療の経過、結果を観察し評価できる歯科医師の育成

歯科疾患の診断、治療に関わる基本的技術を身に付けた歯科医師の育成

口腔外科疾患の診断、治療に関わる基本的技術を身に付けた歯科医師の育成

関連医学領域の医学知識を習得し、十分に対診できる能力を身に付けた歯科医師の育成

歯科医師としての社会的役割を認識し、実践できる臨床医の育成

専門的知識や高度先進医療に目を向け、生涯研修の意欲を有し、科学的思考能力と問題解決能力を開発し、身に付けた歯科医師の育成

#### (2) 到達目標

##### 一般目標

生涯にわたる研修を行うために、より広範囲の歯科医療について知識、態度及び技能を習得する。

##### 救急処置

##### 1) 一般目標

歯科診療を安全に行うために、必要な救急処置に関する知識、態度及び技能を習得する。

##### 2) 行動目標

ア) バイタルサインを観察し、異常を評価する

イ) 服用薬剤の歯科診療に関連する副作用を説明する

ウ) 全身疾患の歯科診療上のリスクを説明する

エ) 歯科診療時の全身的合併症への対処法を説明する

オ) 術後合併症(術後出血、術後浮腫、発熱など)を的確に診断する

カ) 一次救命処置を実践する

・緊急臨床検査を依頼できる

・ショックに対する応急処置ができる

・出血に対する止血処置ができる

・専門診療科へ往診依頼ができる

キ) 二次救命処置の対処法を説明する

##### 医療安全・感染予防

##### 1) 一般目標

円滑な歯科診療を実施するために、必要な医療安全・感染予防に関する知識、態度及び技能を習得する。

##### 2) 行動目標

ア) 医療安全対策を説明する

イ) アクシデント及びインシデントを説明する

- ウ) 医療過誤について説明する
- エ) 院内感染対策(Standard Precautions を含む)を説明する
- オ) 院内感染対策を実践する

#### 経過評価管理

- 1) 一般目標  
自ら行った治療の経過を観察評価するために、診断及び治療に対するフィードバックに必要な知識、態度及び技能を習得する。
- 2) 行動目標
  - ア) リコールシステムの重要性を説明する
  - イ) 治療の結果を評価する
  - ウ) 予後を予測する

#### 予防・治療技術

- 1) 一般目標  
生涯研修のために必要な専門的知識や高度先進的技術を理解する。
- 2) 行動目標
  - ア) 専門的な分野の情報を収集する
  - イ) 専門的な分野を体験する
    - ・入院患者の手術計画を指導医とともに立てることができる
    - ・手術の申し込み、必要な器材の使用依頼ができる
    - ・関連診療科へ患者紹介ができる
    - ・手術前後の口腔清掃指導ができる
  - ウ) POS(Problem Oriented System)に基づいた医療を説明する
  - エ) EBM(Evidence Based Medicine)に基づいた医療を説明する

#### 医療管理

- 1) 一般目標  
適切な歯科診療を行うために、必要となるより広範囲な歯科医師の社会的役割を理解する。
- 2) 行動目標
  - ア) 歯科医療機関の経営管理を説明する
  - イ) 必要に応じた医療情報の収集を行う
  - ウ) 適切な放射線管理を実践する
  - エ) 医療廃棄物を適切に処理する

#### 地域医療

- 1) 一般目標  
歯科診療を適切に行うために、地域医療についての知識、態度及び技能を習得する。
- 2) 行動目標
  - ア) 地域歯科保健活動を説明する
  - イ) 歯科訪問診療(在宅歯科診療)を説明する
  - ウ) 歯科訪問診療を体験する
  - エ) 医療連携を説明する

#### 入院管理

- 1) 一般目標  
歯科診療に必要な基礎疾患の内科的知識を習得し、関連診療科との対診を通して全身疾患の理解を深めるとともに術者として口腔外科疾患の治療に対応できる

2) 行動目標

- ア) 歯科治療上問題となる疾患に対応し、安全な治療ができる
- イ) 専門医への適切なコンサルテーションができる
- ウ) 指導医のもと担当患者を受け持ち、手術に参加するとともに周術期管理を行う
- エ) 経験年数に応じ、術者として埋伏歯(水平埋伏智歯を含む)の抜歯、良性腫瘍および嚢胞摘出術、顎骨骨折の整復固定術ができる

麻酔科研修

1) 一般目標

歯科診療において必要な全身管理、麻酔の知識および技能を習得し適切な治療ができる。

2) 行動目標

- ア) バイタルサインの把握ができる
- イ) 適切なモニタリングができる
- ウ) 術前診察を適切に行える
- エ) 全身麻酔の手技を実践できる

その他の到達目標

- 1) 社会人としてのマナーを磨き、コデンタル・コメディカルスタッフとともに円滑に仕事を遂行できる
- 2) 症例検討会、手術検討会および抄読会に参加し、最新の知見を習得するとともに発表する
- 3) 専門学会に入会し、より専門性を高めるとともに自ら経験した症例を発表、論文を作成し、投稿する

お問い合わせ先

札幌医科大学附属病院歯科口腔外科教室

TEL;011-611-2111(内線 3578)

助教授 永井 格 nagai@sapmed.ac.jp